



# 秀麗の丘

学校だより NO. 17  
令和2年10月27日  
発行人 八木沼孝夫

教育目標 21世紀を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

**知性**：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

## 一人一人が輝いた校内体育祭・秀麗祭

10月16日(金)に校内体育祭を、10月17日(土)に「秀麗祭」が行われました。この時期、例年ならば「秀麗祭」のみの開催でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で6月に実施できなかった校内体育祭も併せて開催することになりました。

10月16日(金)の校内体育祭は、心地よい秋空の中で行われました。各クラス対抗で長縄跳び・台風チャンス走・1200m全員リレーの3種目を実施しましたが、これまで体育の授業や昼休み、放課後等で練習を積み重ねてきた成果を発揮しようと、学級全員が心をつなげてがんばっていました。そんな中、さすが3年生はどの競技も上位入賞していましたが、中には2年生のクラスが優勝した競技もありました。その様子を見ていた1年生は改めて2・3年生のパワーを実感していたようです。

### ●校内体育祭の結果

長縄跳び
①3の3 ②2の3 ③2の1
台風チャンス走
①3の2 ②3の1 ③2の2
女子1200m全員リレー
①2の3 ②3の2 ③3の1
男子1200m全員リレー
①3の1 ②3の2 ③3の3
総合成績
①3の2 ②3の1 ②2の3



長縄跳び優勝の3の3



仲間のプレーを応援



プレー前の士気を高める3の2男子



リレー優勝3の1男子

10月17日(土)に行われた「秀麗祭」についてですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、一時は開催が危ぶまれましたが、生徒そして保護者の皆様の御理解と御協力をいただき、制限付きながらも実施することができました。

まず午前の部では合唱コンクールと合唱部・吹奏楽部の発表が行われました。

合唱コンクールでは、各学年の発達段階に応じた合唱曲を選んで今まで練習を積み重ねてきましたが、その成果を発揮しようと、指揮者のタクトと伴奏者のピアノ演奏に合わせて、気持ちを一つにして美しいハーモニーを披露してくれていました。今年は練習する時間も少なかったり、マスクやフェイスシールドをつけての練習を行ったりなど何かと不自由な形で当日を迎えましたが、そんな厳しい状況を感じさせないほどの素晴らしい合唱でした。

### ●合唱コンクールの結果

最優秀賞	3の2
優秀賞	3の1
金賞	3の1 3の2 3の3 2の2
銀賞	2の1 2の3
銅賞	1の1 1の2 1の3
佐浦賞	1の2
天野賞	2の1
長谷川賞	3の3
指揮者賞	●●●●●(102) ●●●(202) ●●●●(302)
伴奏者賞	●●●(102) ●●●●●(201) ●●●●(302)



最初の演奏で緊張の1の3



最優秀賞の3の2



映像を流しながらの合唱部



大いに盛り上がった吹奏楽部

午後の部は、学年発表、有志発表、閉祭式が行われました。

学年発表では、1年生が「会津学習旅行」、2年生が「須賀川と松尾芭蕉」3年生が「よさこい」を発表しました。

1年の「会津学習旅行」については9月に行った会津若松市での学習旅行について、1組、2組、3組、5・6組の各学級が工夫を凝らして自分たちの体験してきた様子を発表していました。

2年の「須賀川と芭蕉」の発表は、演劇、映像、効果音・BGM、ダンス、俳句読み合わせ、ラップ披露などのグループに分かれて、生徒たちが自分たちで内容を考えて、練習を積み重ねて披露していました。昨年度は先生方の指導で行った発表を、今年は自主的に発表し大きく成長することができました。

3年生の「よさこい」は学年全員の演舞で迫力がありました。2学期始まってすぐに外部講師の先生をお招きして練習が始まりました。全員が松明あかしの時に身につける法被（ハッピー）を着用して、「南中ソーラン」と「どっこいしょ」の2曲を披露してくれましたが、学年全員の糸乱れず力強い踊りとその表情から、3年生のパワーを見せつけてくれました。

また今年は「有志発表」が行われ、オーディションを通過した3年生4組の生徒が発表しました。独唱、ダンス、歌と映像、エアバンドと多彩な発表となり大いに盛り上がりましたが、ここでも3年生のパワーを披露してくれました。

### ●校内文化祭各賞の結果

テーマ	●●●●●●	花 (201)
ポスター原画	●●●●●●	(303)
ビジュアルアート原画	●●●●●●	(303)
美術展 学校長賞	●●●●●●	(303)
書道展 学校長賞	●●●●●●	(302)

### ●有志発表出演者

歌	●●●●	(301)				
ダンス	●●●●●●	(301)	●●●●●●	(303)		
歌と映像	●●●●●●	(302)	●●●●●●	(302)		
	●●●●●●	(302)	●●●●●●	(302)	●●●●●●	(302)
エアバンド	●●●●●●	(302)	●●●●●●	(302)		
	●●●●●●	(302)	●●●●●●	(302)		



1年「会津学習旅行」



2年「須賀川と松尾芭蕉」



3年全員で「よさこい」



有志発表「エアバンド」

「秀麗祭」の開催にあたって、本校にゆかりのある方々から応援メッセージが届きましたので、生徒には内緒のサプライズで紹介しました。

この応援メッセージは、新型コロナウイルスの影響で中体連の大会や各種コンクール、さらには修学旅行や松明あかしも中止になってしまった3年生を励ましてほしいと、校長がお願いしたところご快諾をいただいて実現したものです。

その内容は、本校の卒業生で漫画家の鈴木央さんからの「どんな困難も仲間となら乗り越えられる」と力強いメッセージが書かれた『七つの大罪』のキャラクターの色紙と、同じく卒業生で現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席トランペット奏者の川田修一さんの言葉とトランペット演奏の動画、そして須賀川市観光交流大使で東日本大震災以降、一小を応援していただいているバイオリニストのNAOTOさんのメッセージと「希望のうた〜カワセミのように」を演奏していただいている動画です。

生徒たちは突然の動画が流れて驚いていましたが、3名の方々のメッセージを嬉しそうに見ていて感動していたようです。

3名の方々には、大変お忙しい中応援メッセージを送っていただきありがとうございました。



鈴木央さんの色紙



川田修一さんの演奏



NAOTOさんのメッセージ

今回の「秀麗祭」の開催にあたっては、保護者の方々の御理解と御協力があったからこそ開催できました。衷心より感謝申し上げます。お子さんの活躍の様子をご覧いただきたかったのですが、感染防止のために、3年生の保護者1名のみでの観覧とさせていただきました。直前に市内でも感染者が確認されたこともあり、緊張感が走りましたが、これまでの子ども達のがんばっている様子を鑑み、可能な限りの感染防止策を講じながら開催いたしました。反省すべき点がいくつかありました。今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。しかし、校内体育祭・秀麗祭の2日間を通じて、多くの子ども達の笑顔や頑張りが見られ、一人一人が本当に輝いていました。まさに「一中生のパワー」を実感することができました。今後も子ども達に様々な活躍の場を与えて、子ども達の可能性を伸ばしていきたいと思えますのでご協力をお願いします。